

2018年10月31日

「皮膚の光老化(ひかりろうか)と その予防に関するコンセンサスステートメント(合意文書)」を ホームページで公開

～太陽の恵みをたっぷり享受し、紫外線の害に泣かないために～

日本化粧品学会(理事長: 東邦大学医学部 皮膚科教授 石河 晃)は、「皮膚の光老化(ひかりろうか)とその予防に関するコンセンサスステートメント(合意文書)」をホームページで公開しました。これは太陽光線に含まれる紫外線が皮膚(肌)の老化に及ぼす影響と、紫外線から肌を守り、健やかで美しく保つために普段から気をつけるべきことをまとめたものです。医師・研究者向けと、一般の方向けの2種類を作成しました。ホームページ(<http://www.jcss.jp/>)にアクセスしていただき、皮膚の研究、皮膚科での患者様へのアドバイス、および学校教育の現場等で活用いただければ幸いです。

コンセンサスステートメント作成と公開の背景

普段の生活の中で、太陽光線に含まれる紫外線を長期間、繰り返し皮膚に浴びてしまうと、シミ、シワ、たるみなどが増え、皮膚の老化が促進されてしまいます。この皮膚の変化は光老化(ひかりろうか)と呼ばれており、さらに長期間、紫外線を浴びてしまうと皮膚がんの発症にもつながります。

日本化粧品学会では、

- 1) 光老化予防の対策・必要性について、正確な情報を社会に伝えることを本学会の使命の一つとして考える
- 2) 皮膚科の先生方が推進している、光老化啓発プロジェクトを後援することから、2017年に「皮膚の光老化とその予防に関するコンセンサスステートメント」をまとめ、日本化粧品学会誌(第41巻、3号、237-245頁)に掲載しました。今回、研究者・医師の方、そして一般の方に、より身近に感じていただき、普段の生活の場面で活用いただくために、本コンセンサスステートメントを学会ホームページ上で公開しました。※ホームページからのアクセスについては添付資料をご参照ください。

コンセンサスステートメントについて

●医師・研究者向け：「皮膚の光老化とその予防に関するコンセンサスステートメント」

この中では、光老化の定義、紫外線の皮膚に対する作用、ビタミンD産生も含めた紫外線防御の功罪、サンスクリーン製剤を中心とした紫外線防御の方法などについて、網羅的にまとめてあります。

●一般の方向け：「紫外線によるシミ・シワ(光老化:ひかりろうか)を防ぐために知っておくべきこと ～太陽の恵みをたっぷり享受し、紫外線の害に泣かないために～」

この中では一般の方にご覧頂くことを前提に、光老化について分かりやすく解説するとともに、紫外線に関する知識、紫外線防御の方法などについても簡潔にまとめました。

日本化粧品学会について(<http://www.jcss.jp/index.html>)

日本化粧品学会は、1976年に皮膚科医、薬学・基礎研究者、化粧品研究者が集まり、化粧品(香水、化粧品類)及びそれに配合される成分に関する医学的および科学的問題について討議する場を作ることを目的に設立されました。以来、化粧品の有用性と安全性等に関する研究や科学的議論を通じ、美しく健康に過ごす生活を実現することにより社会に貢献することを目的として活動を続けております。



添付資料：日本香粧品学会ホームページからのアクセスについて

日本香粧品学会ホームページ(<http://www.jcss.jp/>)

